

# 『市民学校』が開講

## 初日は70人が興味深く

今年で五回を迎えた『市民学校』が五月九日、市立中央公館で始まりました。

まず、岩原智社会教育課長が「今日から七回にわたって講座が開か

れますが、皆さん、すべての講座を聴講できるよう頑張ってください」と、開講のあいさつ。

初日は、県山岳連盟会長の山崎清憲氏が「山と、人と、自然」と題して、選歴のとき

のヒマラヤ登山の体験や、現在研究している四国の古道について講演。

入場者は、お年寄りを中心に約七十人と盛況で、興味深い話に皆

さん聞き入っていました。

市民学校は、以後左表のような

日程で五月三十日まで開かれます。申し込みを忘れていた方など、会場に少し余裕もありますので、聴講希望者は、講演当日に直接市立中央公民館へ来てください。



恒例になった市民学校。初日には70人が聴講した

日 程 表

日	時間	演 題	講 師
5/16 (木)	13:30 15:30	子供たちの健やかな育ちを支えるために	高知学園短期大学助教授 岡村順一氏
20日(月)	"	婦人の社会参加に望まれるもの	高知女子大学文学部長 池川順子氏
23日(木)	"	アフリカの飢餓と日本	高知新聞社論説委員 渡辺清臣氏
27日(月)	"	ニューメディアと暮らし	NHK高知放送局放送部長 秋沢潤一氏
30日(木)	"	坂本龍馬が現在に生きている	県立図書館郷土資料班長 広谷喜十郎氏

場所…市立中央公民館（市民体育館隣り）

## 組織を強化し 活発な婦人会活動を ～ 市連合婦人会総会 ～

南国市連合婦人会（西森律会長）の総会が四月二十六日、市役所で開かれ、六十年度の活動方針などを決めました。

総会には各地区の役員約五十人が出席。西森会長が「現在、市内では三地区の婦人会が未組織で、また、組織に加入している地区でも活動が停滞しがちなところがあります。今こそ、婦人会のあるべき姿について、原点に立ち返る必要があります」とあいさつ。続いて、五十九年度収支決算報告、六十年事業計画



午後からは、健康づくりのための講演も行われた

などを承認しました。

六十年度の重点目標は、①組織の強化②健康づくりの推進③差別をなくす④青少年の健全育成⑤交通事故防止の五項目で特に、組織の強化を重点に置いて、活動を進めることを決めました。

午後からは、「現代医療に東洋医学の役割」と題して、山本東洋クリニックの山本浩志院長が講演を行い、また、肩凝りなどの痛みに対する針灸の実演もするなど集まった婦人会の役員も熱心に講師の話を聞いていました。